

港南台教会社会委員会では、今年度から、学習会の内容や社会委員会の活動を皆さんにお知らせする「社会委員会通信」を配布することにしました。

8月1日の平和聖日に開かれた今年度第1回の学習会には、30名の方々が参加して下さいました。今回は学習会の発題要旨と、その後皆様に話していただいた御意見の要旨（紙面の都合上）をご紹介します。

## 社会委員会学習会

発題 「平和を求めて、私の願い」 要旨 Y.O

今、日本では「ガイドライン関連法案」「日の丸、君が代」「盗聴法案」「住民基本台帳法案」等が十分な議論もなされないままに次々と国会を通過しています。これらの法案の持つ意味を考えるに当たって、私が影響を受けた一冊の本をご紹介します。

1985年に自民党が「国家秘密法案」を国会に提出しました。東京弁護士会に所属していた上田誠吉弁護士はこの法案に反対する立場から、戦前、戦中の国家秘密法について調べました。その過程で、善良な市民には関係のないようなこの法案のために、苦難の生涯を強いられた一人の青年の事件を発見し、いろいろな調査をもとに「ある北大生の受難」という本を出版しました。

この本に取り上げられた青年は、当時、北海道大学の学生であった宮沢弘幸さんです。宮沢さんは、1941年12月8日、ラジオのニュースで、日本とアメリカが戦争に入ったことを知り、恩師だったアメリカ人のレーン夫妻宅を訪ね、「戦争は国と国とのことです。先生と学生達の友情は変わることはありません。」と言いに行ったのです。そう告げて、レーンさん宅を出たところを、特高警察官に逮捕されました。レーン夫妻は、あの暗い時代に人間性に対する深い理解を持って、学生達にヒューマンな暖かい愛情を注いでいたクェーカー教徒でしたし、宮沢青年は、語学に堪能で、旅行好きな、好奇心と向学心旺盛な学生でした。恩師夫妻との楽しい語りの中で話した宮沢青年の旅行談の中に、軍の飛行場のことなどが入っていたとして「スパイ」の罪に問われ、その内容が、公知の事実であり、彼と恩師夫妻はともにスパイの容疑を否認し続けたにも関わらず、拷問を受け、15年の重刑に処せられたのです。宮沢さんは、1945年、GHQの指令によって釈放されるまで、4年に近い苦難の獄中生活を送り、出てきた時は肺結核に冒された上、歯も失い、全身膿で覆われ、靴も履けない状態でした。そして「元気になったら事件の真相を書きたい」と何度もつぶやきながら、1947年28才で亡くなりました。終戦後まもなく司法省の指示のもと、この事件に関する1審判決は焼却されましたが、事件から53年後、「極秘・外事月報」に発見されたその内容は、彼らが権力によって「スパイ」に仕立て上げられたことを、明瞭に示していました。

私はこの本を読んで、「自国の防衛秘密を保護するために」と言って提出されている法案が、戦時中、多くの犠牲者とその家族に苦難の日々を負わせてきた歴史を知りました。そして私がアメリカ旅行中にお世話になった秋間夫妻が、宮沢さんの妹さん夫婦だったことを知り、この事件が他人事とは思えず、自分の問題として、積極的に反対運動に関わっていきました。

今、国会を通過していく法案も、「愛国心を養う」とか「凶悪犯罪を未然に防ぎ市民の安全を確保するため」と言われています。しかし同じ法案が権力者の都合の良いように運用されれば、私たちが自由に考え、知り、発言できる自由を奪い、平和な日常生活を脅かすものになっていくことを「宮沢事件」は証言しています。現にこの世界には、その時の権力者にとって都合が悪いからと言う理由だけで、不当な国家権力のもと受難の日々を送っている人達がたくさんいます。

平和と自由を守るために、私たちが今出来ることに関わっていきましょう。

# 平和聖日 社会委員会学習会 発言要旨

発題のあと出席されたほとんどの方々が、平和について発言して下さいました。

政治とは社会を住みやすくするもの。  
大部分が賛成するならそれも必要だ。  
(Aさん)

憲法の主権在民を知って、ふるえるほど感動した。しかし憲法に天皇制があるのがいちばんおかしい。(Gさん)

戦争中は軍国少女でした。いまは沖縄の人達の苦難を言い継ぎたい。  
(Dさん)

こどもか、おじいさんは戦争にいった悪い人だという。どう説明したのか。(Eさん)

日の丸・君が代に関して生徒が無関心だ。将来を担う若者たちが自分達の国の問題に無関心だ"ということは、学校教育に問題があるのでは?(Hさん)

みんなで一緒に神さまに喜ばれるような働きを (Iさん)

国家秘密法には私も疑問を感じていました。(Bさん)

急に戦争にはならない。  
国民をそれに持っていく教育を監視していかななくては。(Fさん)



日本が憲法で永く戦争放棄をしたことで感重たした。(Jさん)

10年後には君が代を唱わせられるこの子に、どう言おうか。(Nさん)

住井すゑさんは、悪の根源は天皇制と言う。みんなで考えなくては。(Mさん)

国民は戦争の被害者だが、同時にアジアの国民には加害者だった。日本はつぐないが必要。(Cさん)

若者むらよとしたきっかけで変わる。一人では何もできなくてもみんなと一つの働きをしたい。(Kさん)

戦争の被害を学んだが、韓国、沖縄で日本人は加害者だと学んだ。(Lさん)

高校生も戦争はいやだ"という声に、多少ほっとした。(Oさん)

たくさんの御意見ありがとうございました。

次回の学習会は 10月3日 「介護保険法」について、S.T 兄が発題します。  
多くの方々の御参加をお願いいたします。

平和聖日の学習会のテープがあります。